

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

グループワーク 2 A班

(F) では、グループワーク 2 ということで、よろしくお願いします。

では、すみませんが宿主さん、グループワーク 1 で出た意見について紹介をお願いします。

—— では、私から説明をして、あとで補足をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

原子カムラとは何かということで、一番多かったのは、「メリットでつながる関係」について述べた意見です。例えば、利益が一致する、利益を共有する、原子力が好きである、原子力を守る。原子力についてメリットや利益を感じていて、それを共有する仲間、という意見がこのグループです。

それとはまったく別に、「原子力」という言葉を抜いて、「ムラ」という言葉そのものについてのイメージがいくつかありました。何かを共有している、あるいは、仲間である。どの業界にもあるコミュニティの単位ではないか。「町」でもなく「市」でもなく「ムラ」ということで、ムラ自体が意味するものは比較的小さい集団なのではないか。というような、「ムラ」に対するイメージがいくつかありました。

その中で、特に、「ムラ」の悪いイメージに関する意見がありました。カタカナであること自体に悪いイメージがあるのではないか。敵対関係を作りたい人々にとって便利な言葉だ。「どうせあの人たちはムラだから」とか、そういうイメージを持ちたいがために使っている言葉なのではないかという意見がありました。ここ (①) は「原子カムラ」についての意見なのですが、ここ (②) は、「原子力」を抜いた「ムラ」のイメージについての意見です。

で、③はまた「原子力」が入ってきて、原子カムラと一般の人との壁という意味での原子カムラのイメージです。例えば、大人だけの話である。つまり、学生や子供には全然関係なくて、社会に出て専門家になって初めてムラというグループができているのではないかという意見です。普通に生活している一般の人たちとは関係ないものではないか。一般市民に対して専門家側が作っている、我々は特別なのだという壁なのではないか。そういう一般との壁という意味での意見です。

そして、これらの解消策としての意見がいくつかありました。ムラとムラ以外が、意見の受容をお互いにすべきではないか。意見を共有する。ムラは外に向かって発信したほうがいい。お互いの違いをちゃんと知りましょう。変わった意見としては、ムラと言われるのは、専門家がちゃんと反省するための良い機会なのではないか、というものがあ

た。この〔初動対応システム〕というのは、少し分かりにくいのですが、この意見を出した方は、そもそもムラとムラでない人たちの中でちゃんと齟齬や意見の違いを共有できていれば、いろいろな災害があったときにしっかり対応できたのではないかとおっしゃってました。このような、解消策としての意見がありました。

少しバラバラなのですが、こういう感じです。何か補足があればお願いします。

—— いえ、見ての通りというくらいで、特に補足はありません。

—— 何か分かりにくいところがあれば。

では、とりあえず終わります。

(F) 特に質問がないのですけれども、皆さん大丈夫ですか？ 今、ざっと流れに沿って説明していただきましたけれども、例えば、①で組み合わさっている中のこれが少し分かりづらいとか、どういう意味なのかとか。この後、自分が同意できる意見を選んでいただくというプロセスがありますので、そのためにも、自分がシールを貼っていいのかどうか、判断に困るような意見があれば、今がチャンスですので、お聞きください。

—— では、いいですか。1-8の〔協力関係〕というのは、具体的な意味は出たのですか？

—— うーん、具体的に何について、というのはないのですけれども。

(F) 何と何の協力関係か、そういうことですか？

—— ええ。そういった話は出なかったのですか？

—— 具体的な話はなかったのですが、おそらく、意見を出された方は、ムラの中では協力関係があるのではないかと、と言いたかったのだと思います。

—— 協力関係があるのがムラだと。そういうことですね？

—— そうですね。

(F) 原子カムラと言われている全体、その包括されている人たちは、皆協力関係にあると。

—— その中の人たちは、という感じです。

—— なるほど。分かりました。

—— ちなみに、今の〔協力関係〕の話ですけれども、それは組織や、例えば電力会社も含めてということですか？

—— そうです。〔利益を共有している人々〕なども〔協力関係〕に関わるのですが、電力会社とか、

—— 発電所の近くに住んでいる人も含めて、

—— まあ、そうですね、イメージなので、個人によってどこまで含めるかは違うと思うのですが。我々も含めるかどうかは変わると思うのですが。

(F) では、「メリットでつながる関係」の中で言っているのは、原子力に関係する人たち全てを含めたものである「原子カムラ」の中での協力関係、というイメージですか？ 今のお話だと、発電所の人も、研究所の人も、あとは立地の人も、ということで、全国規模の、あちこちにいる原子力にメリット、協力関係がある人たち全てということですか？ 地域性というよりは。

—— うーん、電力会社とその周り、研究所とか、そういう小さな枠で考えている方もいれば、一般市民も含めて考えている人もいて、意見を出した人によって違うと思うのです。ここでは、それを一緒にまとめてしまっています。たぶん細かく見れば、人によって違うと思います。もう少し深く議論すべきだったなと思うのですけれども。

(F) それぞれのイメージする原子カムラという規模の中で、それぞれ協力関係があるのだろう、というようなイメージだということですね。

—— 2-2の〔比較的小さい集団〕という意見がありますよね。ということは、いわゆる原子カムラというものが、日本のあちこちに点在しているというイメージでいいのですか？ 小さいムラがたくさんあって、また少し大きなムラがあるのか。今聞いていて、そういうふうにとったのですけれども。

—— ②のところでは、そういう話はなかったのですよ。②は、もう「ムラ」という言葉について話していて。

(F) 「原子力」は切れてしまったと。

— はい。切れてしまって、「ムラ」について話しています。

— ああ、分かりました。

(F) カタカナでいう「ムラ」だと、こんなイメージがある、という話が出たということですね。

— そうです。

(F) それで、「原子力マチ」とは言わない、という話ですか？

— はい。

(F) 「ムラ」以外のワードが出てこないのはなぜだろう、みたいな意味もあつての意見ですか？

— そうですね。（「ムラ」という言葉に）意味があるのだろうと。

(F) 「ムラ」という言葉に意味があるのだろうと。マチでもクニでもないぞ、という感じですね。

— という意味ですよ？

— ④の、「ムラ」のネガティブイメージ」と書いたのはそういうことで、「ムラ」という言葉にちょっと感情が何かがあるというような意見です。

— 村八分のムラ？

— そういうふうなものです。ね。「町八分」とかは聞かないと。

(F) では、そろそろ次に移りたいのですが、そちらの方は大丈夫ですか？

— 私からは特にありません。

(F) では、自分が同意できる意見を3つ選んで、赤いシール、青いシール、今お手元にシールがあると思うのですけれども、付箋に貼っていただきます。

—— 自分が書いた意見もあるのですが、それに貼ってもいいのですか？

(F) 自分が書いた意見にも貼っていいのですよね？ 「同意できる意見」だから、ご自身が書かれたのなら、特に自分でそう思っているから、当然貼ることになると思いますけれども。

(サブ F) 全体を見て、優先順位を3つつけてください。自分の意見の優先順位が高ければ、自分の意見に貼ってもいいと思います。

(F) 他の人の意見を見て、そちらのほうが自分の意見よりも良いと思ったら、そちら側でもいいということですね。

では、皆さん、それぞれ、ええと、貼ってしまってもいいのですよね？

(サブ F) シールの色を間違っていないですね？ 市民の方は赤いシール、専門家の方は青いシールです。どうぞ、ここに貼ってください。

—— あ、付箋で貼るのではなくて？ シールを貼るのですね。

(サブ F) シールを貼ってください。どうぞ。

(F) 貼ってから次の議論になるみたいなので。

(シールを貼る)

(F) まだシールが残っている人はいますか？ 大丈夫ですか？

では、皆さんにそれぞれ貼っていただきました。各自がグループワーク1の模造紙をしっかりと見てくださいますと書いてあるので、しっかりと見ていただいていますか。その後に、気づいたことを書き出します、ということですが、気づいたことというのは、どういうイメージなのでしょう？ 私には意味がよく分からなかったのですけれども。

(サブ F) 模造紙全体を見ての感想ですね。例えば、これに対してどう思ったとか、感想を書くことになります。

(F) 気づいたことイコール感想ということで、グループワーク 1 で書き出された内容について、

(総合 F) サブファシリテーターさん、あと 20 分です。よろしくお願いします。

(F) はい、では、それぞれ感想を書いてください。

—— ええと、この付箋に書けばいいのですか？

(F) グループワーク 1 のときと同じように、感想をどんどん書いていただいて、ストックしておいてください。3 分間区切るそうです。では、スタート。

(サブ F) 少し遅れていますので。

(F) 遅れているそうです。申し訳ございません。

(記入中)

(F) では、意見を 1 つずつ読んで、こちらに貼っていただくということで、よろしくお願いします。こちらからお願いしてよろしいでしょうか。

—— 1 つ目は、4-3 の「敵対関係を作りたい人々にとって便利な言葉」に対する感想です。組織で働いたことがある人であればまったく共感できると思うのですけれども、他人を蹴落とすじゃないですけれども、対決するにあたってのイメージ戦略のひとつとしては、ごく当たり前のことなので、共感できると思います。

(F) ありがとうございます。もう 1 つは？

—— あれ？ 1 つずつではないのですか？

(F) あ、では、一旦回しましょうか。では、次の方。

—— 「①メリットでつながる関係」の 1-6 に対する感想ですが、利益集団だということは、一般市民からかなり離れている場所にあるわけですね。

(F) ありがとうございます。では、次の方、お願いします。

—— 2つあります。

(サブ F) 発表してください。

(F) まず読み上げていただけますか。

—— まず、これは言っているのかどうか少し怖かったですけれども、見慣れた意見群ですねという感想です。これは悪い意味だけではなくて、皆さんがだいたい同じような意見を持っているのだな、という意味も含めての感想です。悪く言えば、目新しいものがないのですけれども、良く言えば、皆意見はかなり整っていると。

もうひとつは、「③一般との壁」に対する感想です。これをパッと読んで感じたことなのですけれども、市民サイドに比較的主体性が感じられないなど。「専門家が壁を作った」とか、「一般には関係ない」と言っている一方で、「市民サイドも主体的に理解することを避けていた」というような考え方は全然出ていないな、ということです。

(F) ありがとうございます。では、次の方、お願いします。

—— シールを貼った後にこれを見てください、ということだったので、シールの位置に注目しました。

シール2個以上が、私が個人的に思ったよりも多かったということです。

あとは、青2個、または赤2個が多い。同じ意見を持っているのが2人以上いたところが多かったということです。

あとは、原子力の話をしているのに、(原子力という言葉を外した)「ムラ」という言葉に対するイメージのところに意外とシールが多かったなど。そこに対して、皆さん意見があるのかなと思いました。

あとは、「壁」の話題のところに青のシールが少ないということは、専門家の方はあまり壁を自覚していないというか、意識していないのかなという印象を持ちました。

(F) ありがとうございます。では、次の方、お願いします。

—— 私はこの班に残った者なのですけれども、再度考えると、またイメージが変わる。多少イメージが変わることもあると。

(F) あとは？

—— あ、それだけです。ちょっと書ききれなかったのです。まあ、似たようなことで、あれはいいなとか、そういう感想はありましたが。

(F) 私は2つで、1つ目は、知識を共有できれば解消できる問題が多いのではないかと
いう感想です。

そして、そのためにはお互いに関心を持つことが重要ではないかと思いました。

では、最初の方に戻って、意見の続きをお願いします。

—— はい。1-6の〔原子力利用で利益が多く一致する集団〕に対する感想ですけれども、
利害一致であれば、まとまって行動することが多いので、それは当たり前だろうと思っ
ています。

(F) どうもありがとうございました。

これで6番までが終了で、次は7番に行くのですけれども、「なるほど」と思う意見を1
つ選んで、ええと、これは「感想」ではない側の意見から選ぶということで、

(サブF) 「感想」の意見も含めて構いません。これから私たちが「感想」に対しても番
号を振っていきますので。

(F) では、あの中から好きなものを1つだけ選ぶそうです。1つ選んで、手元の付箋に
書き写してくださいということで、お願いします。その後、理由を書くのですね。では、「な
るほど」を書き写すのは1分くらいでお願いします。

(サブF) 「なるほど」と思った理由は、たくさん書いていただいて結構です。時間がな
いと思ったら、1-1とか、イとか書いて、自分の感想をバーツと書いてください。付箋を書
き写すのは、あとでやればいいですから。

(記入中)

(F) 皆さん、選んでいただいたということでもいいですか。それでは、その理由を書いて
ください。たくさん書いてくださいということなので、時間は3分くらいです。お願いし
ます。

(記入中)

(F) それでは、1人ずつ書き写した意見と、その理由を読み上げながら模造紙に貼って

いってください。出来上がっていきそうなそちらの方からお願いしていいですか。

—— すみません、書き写すのを手抜きしたのでできただけなのですけれども。

(サブ F) では、私たちが書き写しますので。

—— まず、サの〔「壁」の話題に青が少ない、自覚ない?〕という意見についてです。それはごもっともだと思います。たぶん自覚している人(専門家)のほうが少ないと思います。もしくは、自覚していても正当化しているかですね。

あとは、3-2の〔一般ではないもの〕に対してですけれども、市民の側からも「一般ではない」という意見が出ているということは、それ自身も壁でしょう、というのが私の意見です。壁というのは片側からだけでは成立しないので。要は、専門家が黙っていても、一般市民からは、当然、「ちょっと待て、説明しろ、ふざけるな」という声があがるはずで、黙っていさせてもらえないはずなのです。だから、「説明しない」の裏には、「聞きもしない」があるはずなのです。それがちゃんと赤(市民)の方から出ているのだなと思いました。

(総合 F) あと5分で発表タイムです。よろしくお願いします。

(F) では、次にそちらの方、お願いしていいですか。

—— 選んだものは〔青2個 赤2個が多い〕という意見です。その理由は、青2個と赤2個のところを見ていくと、少し先ほどの方の話とかぶると思うのですけれども、自分たちとは違うとか、相手はどうせ利益を共有しているのだろうというような「相手を下げる意見」、あるいは、どの業界にもあるコミュニティの単位とか、ムラという言葉には悪意があるだろうというような「自分を守る意見」が多いのではないかと思います。

(F) ありがとうございます。では、そちらの方、お願いしていいですか。

—— カの意見、〔原子力の話なのに、原子力という言葉をはずした「ムラ」イメージへの同意が多い〕に対して、ムラの意味をもっと考えよう、というイメージを持ちました。

(F) カに対する意見ですね。ありがとうございました。では、次の方、お願いします。

—— 3-1の〔大人の話〕を選びました。おそらく、皆に関わることなので、ここで言っているのは利益追求型の社会を目指している人たちの集団、まあそれは市民で関わっている

人たちもいるでしょうし、のことなのかなと。そういったところで話し合いができないと、先ほどもありましたけれども、お互いが壁を双方から作っているの、それで壁となっているだろうと。

(F) ありがとうございます。では、次の方。

—— シの〔市民サイドの主体性が感じられない〕を選びました。これはごもつともな話で、人それぞれ立場があると思うのです。組織に属していたり、会社に属していたり。そういう意味で、それぞれ意見があると思うのですけれども、それに加えて、複雑な問題がいろいろあると思います。電力の供給だったり、放射能の問題だったり。そういった問題が一緒くたになってしまって、その結果として、どうしたらいいのかがどうしても漠然的で、答えることができない。それがひとつの問題だと思います。

(F) ありがとうございます。

私は、5-6の〔違いを知らせる〕という意見に共感しました。おそらく、「分からない」ことが不安につながっているから、違いを知らせる必要があるのかなと。例えば、火やナイフの使い方と同じように、分かれば安心できる。専門用語が一番のネックだと思いますが、そういった知識を共有できれば、つまり違いが分かれば、壁が消えるのではないかと考えました。

まだ意見がある方はいらっしゃいますか？

(サブ F) 先ほどのご発言を書き取ったのですが、これでよろしいですか？

—— そうですね。

(F) では、一通り意見を出していただいたということで、質問やコメントがあれば、皆さん、どうぞ。逆からで見えますか？

(サブ F) 少し待ってください。今までのご発言で、書いてあることでは足りない部分を追加します。

このご意見は、「主体性がない」でいいのですか？ これは「なるほど」と思って選んだ意見ですよ？

—— はい。

(サブ F) 選んだ理由は、なんておっしゃいましたっけ？

—— 理由は、複雑な問題で、どうしても主体性が見えなくなってしまう、ということです。

(サブ F) 複雑な問題で、主体が見えなくなっている。これでいいですか？

—— はい。

(F) では、皆さん、今出た意見を読んでいただいて、どうでしょうか。

(総合 F) 意見共有の準備ができた班は、ファシリテーターさん、あるいはサブファシリテーターさん、合図をお願いします。

(F) どうでしょうか？ 逆側からになってしまいますが、見えますか？

(サブ F) (ホワイトボードに) 貼りましょうか。

(F) はい。

(模造紙をホワイトボードに貼る)

(F) 質問やコメントを自由に、とあるので、自由闊達なご意見をお願いします。

—— 壁は片方からではできない、双方が作っているという意見があるのですが、なるほどとは思いますが、それがどういうことなのか、よく分からなくて。

—— 私は、同じ壁を見ていないのではないかと思います。どちらも壁、壁と言っているけれども、実際に私が見ているのはこちらの壁なのだけれども、相手が言っている壁は違う壁なのではないか。だから、意見を交換するときにも、違うものを見て言っているので、答えが全然伝わってこないというか。先ほど、[違いを知らせる]という意見がありましたよね。何が違うのかを、お互いに理解しているのかどうか。

(総合 F) 発表の準備が整ったところは、私に合図をお願いします。

—— 作っている壁自体が違うのではないか、ということですか？

—— それは大いにあると思います。仕事の中でも、求められているものと、専門家として言いたいこと、あるいは言わなければいけないことには大きな壁、違いがある。だから、必然的にそれぞれが、「そこを分かってくれない」「そこを分かってくれない」と言い合って、どんどん壁ができる。だから、やはり二枚壁を感じます。

(F) 今のお話は、壁に種類がいろいろあるのではないか、問題としている壁が違うのではないか、ということですか？

—— 私が元々書いた意見は、両方から壁にしているということなのですからけれども。

ただ、先ほどのご質問の答えとしては、それぞれがそれぞれに壁を持っているのは間違いないということです。

(F) 一方で、そちらの方がおっしゃっていたのは、「壁」という誰もがイメージする言葉があるけれども、その壁は違う壁なのではないか、という話ですか？

—— 例えば、私の例を言うと、放射能が何シーベルト、何ベクレルと言われても、よく分からない。だけれども、専門家のほうは、シーベルトで分かるでしょうと思っている。でも、私は、何シーベルトだから危険だ、何シーベルトだから安心・安全だ、みたいなことをと言われても、まったく理解できない。

例えば、「飛行機で海外に行ったときに浴びる自然の放射線はこのくらいです。それと比較するとこうですよ」というような、ある程度見える形というか、そんなものをお互いが共有できれば、ああ、そういうことなのかな、じゃあいいよね、とか判断できる。

(F) 身近なものとしてのイメージがわからないということですね。

—— 一方は専門的に専門用語か何かを使って説明している。だから分かるでしょう、と言っている。けれど、聞いているほうは、数値は分かっても、その数値が人体や子供たちにどのくらい影響を及ぼすかということの理解ができないうちに終わってしまう。それもひとつの壁なのかなと。

—— イメージだと、壁には2つの意味があると思っているのですけれども。1つは乗り越えられない壁で、あなたと私は違うのですという意味の壁、立場が違うからの壁と、

(総合 F) そろそろよろしいでしょうか？ 私に合図をください。

(サブ F) どうですか？ 合図を送ってもいいですか？

(F) 発表する方、今の感じで大丈夫ですか？

(サブ F) 少し前の発言を書いたのですが、確認していただけますか。壁は違うものではないかというもの、それから、説明してくれるときにイメージがわからないというもの。

—— これとそれは近くに貼ったほうがいいような気がします。

—— これをどう発表すればいいのですか？

—— 今は、3 つくらいの塊があるのですよね。「メリットでつながる関係」のことを言うのか、「ムラのイメージ」のことを言うのか、「壁」のことを言うのか。うまく集約できるのであればいいけど、できなければ、ひとつに特化して説明してもらおう。それじゃ駄目ですか？

(サブ F) ここから上は説明しなくていいですよ。

—— え？ 「感想」から上はしなくていいのですか？

(サブ F) ここから上は宿主さんが説明します。

(総合 F) 準備はできましたか？ 合図がほしいのですけれども。

(サブ F) 話し合いは終わっているけれども、準備がまだできていません。いいですか？

—— どこで発表するのですか？

(サブ F) ここで発表です。

—— いや、A 班の意見を、

—— この場所で、皆に対して発表するのですよね？

(サブ F) そうです。

(総合 F) 全体発表の 1 番は B 班でお願いします。私に合図が来ました。

—— どうしますか？

(サブ F) どうぞ、皆さんで話し合ってください。

—— 例えば、3つを提案して、その中の1つについて、A班の意見としてはこうになりました、と発表するか。それとも、全部発表してしまうか。

—— ああ、全部だとまずいですね。

(サブ F) 全部をさっと発表するのが一番いいと思いますけれども。どれかに絞るほど深い話になっていないですよ。

—— そうですね。

ただ、壁に関する話について、3名の方で結構話し合われていたのも確かなので。

(F) では、一通り紹介していただいて、その後で、特にこういうところでは議論がありました、という形にする。それでどうでしょうか？

—— はい。

(F) では、お願いします。

(総合 F) A班からも手が挙がりました。それでは、B班、A班、C班という順番で発表していただきます。

<グループワーク 2 終了>